

行政評価シート(事後評価)

コード 6-3-7	事務事業名 学童クラブの運営管理	所管部課 子育て支援部児童青少年課
--------------	---------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	子育て世帯への就労支援及び放課後児童健全育成支援(安全な居場所の確保)を目的としている。		<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等		
	放課後帰宅しても、保護者の就労等により自宅で適切な養育が受けられない概ね10歳までの児童に対し、学校の余裕教室や児童館施設を活用し、放課後児童健全育成事業を市内28所で開催している(4学童クラブをNPOへ業務委託)。		
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)		千円		329,484	322,081	378,982
財源: 国庫支出金・都支出金				78,888	92,562	110,678	100,860
財源: 地方債							
財源: その他(利用者負担金)				57,514	60,038	61,708	66,711
財源: 一般財源			193,082	169,481	206,596	207,030	
所要人員(B)		人		0.70	0.70	0.70	0.70
人件費(C)=平均給与×(B)		千円		5,730	5,713	5,713	5,713
臨時職員等賃金(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円		335,214	327,794	384,695	380,314
単位当たりコスト(E)=(D)/(施設設置数)		千円		12,893	12,141	13,739	13,583

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	施設設置数		施設		26	27	28
		実績値					
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度	
一 延べ利用者数	目標値	人					
	実績値	人	229,040	233,116	242,568		
二 満足度調査	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
人数増加の要因は、大規模工場移転跡地の住宅開発による子育て世帯の大量流入及び子育て世帯のライフスタイル(共働き、女性の社会参加)の変化による需要増が考えられる。学童クラブ民間委託に伴う利用者満足度調査を実施する予定である。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	市内学童クラブ利用保護者代表で組織する連絡協議会との懇談会を実施し意見交換等を行っている。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	施設設置数は26市中上位である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	区部において濃密なサービスを提供する民間学童クラブが出現しているが利用料は高額と聞く。市内新町地域でNPOが古民家を活用した高齢者デイサービス・学童クラブサービスの施設を開設する旨の話があったが、現時点において学童クラブサービスは実施されていない。

コード 6-3-7	事務事業名 学童クラブの運営管理	所管部課 子育て支援部児童青少年課
--------------	---------------------	----------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	2			<input type="checkbox"/> 拡充	<p>子育て世帯のライフスタイルが変化しているなか、保護者の就労(共働き等)により、放課後帰宅しても自宅で適切な養育を受けられない児童の居場所(学童クラブ)ニーズが増加している。こうしたなか、学童クラブサービスに対するニーズも多様化(時間延長等)してきている。</p> <p>本市の学童クラブ運営は嘱託職員制度により実施しているところであるが多様化するニーズへの対応は嘱託職員制度では限界が生じてきている。</p> <p>こうしたなか、市では平成19年度に北原学童クラブ、平成20年度に谷戸・向台・向台第二の3学童クラブを市内で子育て支援に関する事業を展開するNPOに事業運営委託を行い多様化するニーズへの対応を図っている。</p>
事業の必要性	3			<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	1			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	2				

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	2			<input type="checkbox"/> 拡充	<p>多様化する市民ニーズに対応するため、平成19年度、平成20年度において、NPOへ事業運営委託を行っている。</p> <p>児童館と併設する学童クラブ及び小学校併設の学童クラブが多いことから、今後は、児童館のあり方等の検討を進める中で、学童クラブのあり方等についても、国の補助金と児童の定員数、市民ニーズに対応する事業運営等について、トータルコストも勘案した長期的視野での方針を検討する必要がある。</p>
事業の必要性	2			<input type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	1			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	2				

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市内28か所の学童クラブ中、4か所については、NPOへの事業運営委託を行っており、ニーズの多様化に対応できていると考えられる。児童館や学校に併設されているクラブが多いことから、これらの施設の動向を踏まえたうえで、地域ごとのニーズを考慮したより効果的な事業運営について検討されたい。</p>